

私も沖縄県民が尊敬してやまなかつた牧隆壽前沖縄開発事務次官が、去る三月三日、お亡くなりになられました。この逝去を心から悼みますとともに、その失つところが大きいことを思ひ、私どもは今なお深い悲しみを感じております。

牧前次官は、復帰前に税制調査団の一員として沖縄に来られたことが本県との最初の関わりであったと思います。爾来、沖縄に三たび赴任され、また沖縄開発事務次官就任をはじめ沖縄開発庁勤務を含わせると、実に六度、十年有余にわたり沖縄の担当をなさざいました。この出身が屋久島であったこともあってか、常に沖縄の立場に立つて離島も含め県内全体に常に配りいただきながら沖縄の振興に心尽力いたきました。そのお仕事ぶりや情熱にはいつも深く感銘を受けたものです。例えは三重県の津市の助役をなされておられた時など、役人らしから

## 牧 前次官を偲ぶ

沖縄県副知事 石川 秀雄

ぬ行動力と実行力を存分に發揮され多くのご功績を残されたと承っておりますが、私はその素晴らしいお力を發揮していただきましたことは、私どもにとって本当にありがたいことであつました。

お世話になつたことや思い出されることは数多くあります。例えば昭和四十九年に沖縄総合事務局総務部調査企画課課長補佐に就任された際、市町村の行財政運営に関し親身のご指導をいたいたことが思い出されます。当時は海洋博が開催された前後の社会経済情勢が転変としていた時期でしたが、ちよつどその頃、私も県において市町村行政を担当しておりましたので、本当に多くのご指導を賜りました。また一緒に西表島に行く機会などもありましたので、大変親しくおつき合つさせていただきました。

その後昭和六十一年に沖縄総合事務局次長、平成四年には沖縄総合事務局長に就任されました。精力的に離島を回られ、地域住民との対話をされて、たお姿が今も思い出されます。また沖縄開発庁総務企画課長、振興局長、事務次官を歴任されましたが、その間、第三次沖縄振興開発計画の策定とその推進、特別自由貿易地域制度の導入、国立組踊劇場の建設推進など、そのご功績には誠に顕著なものがあります。また、退官なされた後も、県内の新大学設置構想に関わられるなど、常に情熱とまといながら、沖縄の発展に貢献下さいました。

時には泡盛をたしなみ沖縄民

から敬愛され、信頼を寄せられていました。お若い頃走り高跳びやバーナーボールで鍛えられた精悍なお姿を思い出すにつれ、お亡くなりになつたことが未だに信じられない気がいたします。

今、本県はサミット開催など世界に向けて大きくはばたくチャンスを与えられております。また第三次振興開発計画終了後の新たな沖縄振興計画の立案策定等に取り組む極めて大事な時期を迎えています。これから多くのご指導をいただきたい矢先にご逝去されましたことは、誠に残念で

なりませんが、私どもとしましては、生前のご恩に報るために、牧さんがあなたの存命なうどいをお考えになられるだらうか」とこのこととを常に考えながら、二十一世紀に向けて、夢と希望の持てる、あたかさと想いやりにあふれた沖縄を作るべく全力を尽くしてまいりた」と思つます。

これまでお世話になりましたことに重ねて感謝申し上げます

とともに、心よりご冥福をお祈り致します。牧さんどうか安らかに、そして沖縄県の発展に永遠のご加護を賜りますようお願い致します。



牧 前次官(左)と歓談する石川副知事